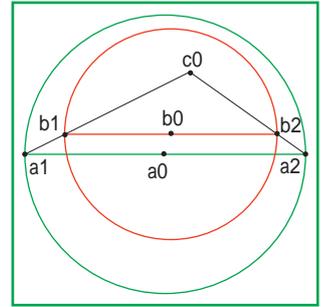


pronity28/37/115.1  
2本の線分

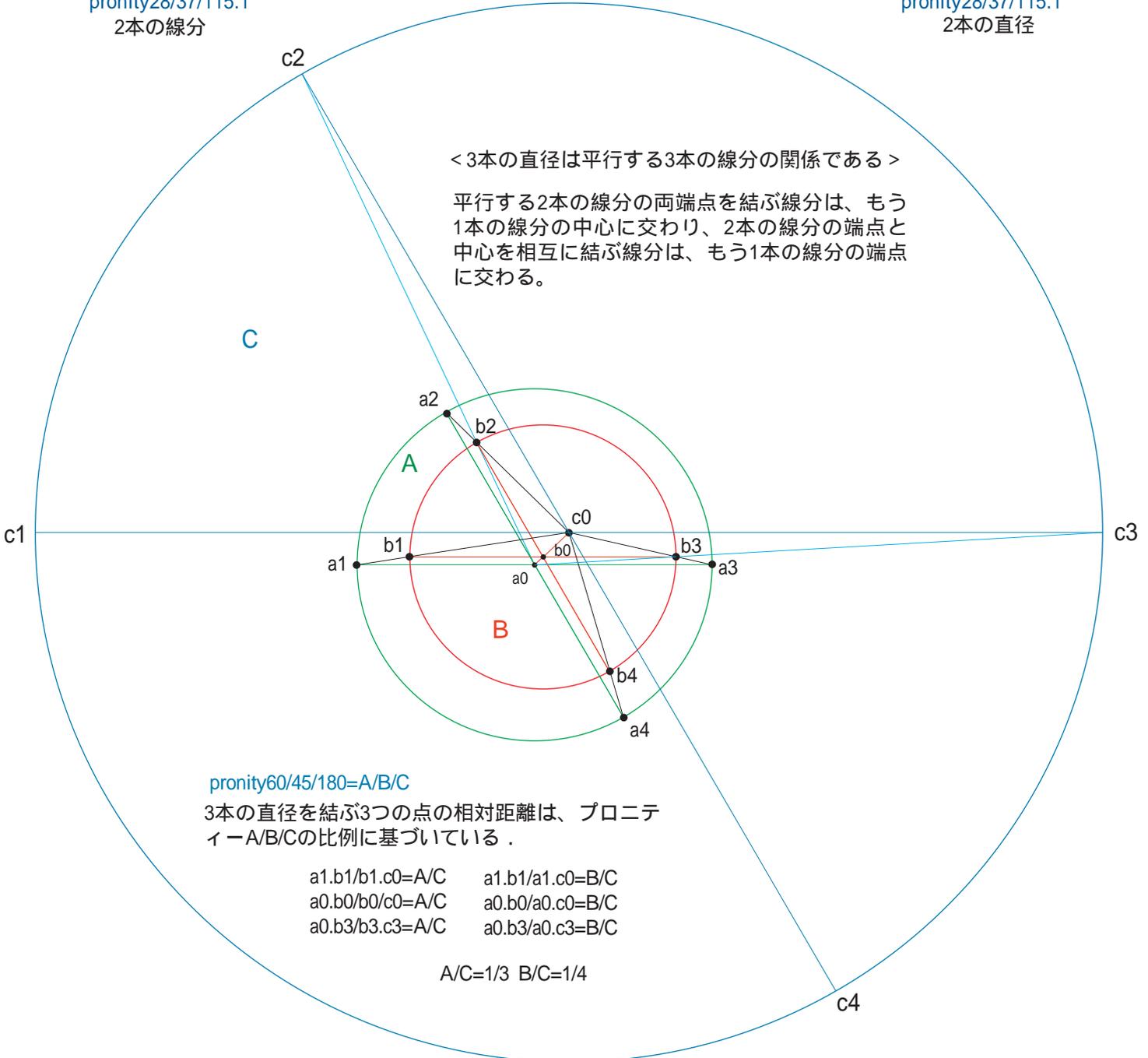
2つの円の直径の両端を結ぶ線は大円の中心(c0)に向かう

中心のずれた2つの円A.Bの平行する2本の直径の両端を結ぶ線の延長交点(c0)は、プロニティのもう一つの円(C)の中心となり、2つの円A.Bの中心を結ぶ線も交点c0に交わる。又、Aの中心からBの直径の端点を通る線の延長はCの直径の端点に交わる。



pronity28/37/115.1  
2本の直径

pronity 60/45/180 < 円の直径 >



< 3本の直径は平行する3本の線分の関係である >

平行する2本の線分の両端点を結ぶ線分は、もう1本の線分の中心に交わり、2本の線分の端点と中心を相互に結ぶ線分は、もう1本の線分の端点に交わる。

pronity60/45/180=A/B/C

3本の直径を結ぶ3つの点の相対距離は、プロニティ-A/B/Cの比例に基づいている。

$$\begin{aligned} a1.b1/b1.c0 &= A/C & a1.b1/a1.c0 &= B/C \\ a0.b0/b0.c0 &= A/C & a0.b0/a0.c0 &= B/C \\ a0.b3/b3.c3 &= A/C & a0.b3/a0.c3 &= B/C \end{aligned}$$

$$A/C=1/3 \quad B/C=1/4$$

< 2本の線分と円と正三角形 >

長さの違う平行な線分の両方の端点を結ぶ2本の直線の交点は、この線分を直径とする2つの円(A,B)にpronityの関係を持つ円(C)の中心である。この3つの円に内接する正三角形は、同じpronityの関係をもち、円(C)に内接する正三角形の3つの頂点は、円(A),(B)に内接する2つの正三角形の、焦点となる。